

令和7年度事業 「外国人雇用研修会」

◆開催日時 令和7年8月29日（金）14:00～16:30

◆テーマ ①「ミャンマー人技術実習生を受け入れるために」 ②「GHにおける海外人材の雇用と実態」

◆講師 ①医療法人すみれ会本部 菅原 孝明 氏 ②社会福祉法人青空会 古川 崇 氏

◆開催会場 八戸市福祉公民館

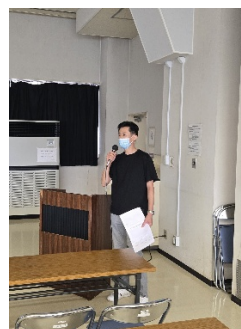
◆参加人数 八戸地区認知症高齢者グループホーム協議会会員 計28名

今回の研修では、外国人雇用について現在取り組んでいる
2つの事業所からご講演をいただきました。

西村会長あいさつ

今回の研修は、グループホームに限らず介護全体の共通の
課題である人材確保に対する解消策の一つである外国人
雇用について。実際に実践している事業所から雇用のヒント
を学ぶ貴重な機会としていただきたい。

◆西村会長あいさつ



菅原孝明先生

ミャンマー人は、勤勉であり愛護的な姿勢を持っている。
受け入れをするにあたりミャンマーの国と国民性を知り、
個人の背景に関心を持って関わるのが重要。外国人雇用
に興味関心があれば、見学に対応しますので相談下さい。

◆菅原孝明先生



古川崇先生

無言で首をかしげることが理解した合図という国の文化
があることを理解しておかないといけない。
海外の介護人材を雇用するにあたり、日本人が外国人材を
教えるのは当たり前という考えに職員が皆同じ意思では
ないという現実と事業全体で取り組む意識の共有が必要
となる。

◆古川崇先生



今回の研修を通じて、外国人雇用をするにあたりその国の
文化や国民性等を知り、制度を理解して受け入れをしてほ
しい。今後いろいろな国からくる海外人材が青森という地
で地域の活力の源となれるようにつながることが望まし
い。という共通点がありました。人材確保の一つの手段と
して各事業所で活用、検討していただきより良いサービス
提供につなげていきましょう。

◆講演会場の様子

